

S でしょう

S: 常体形、ただし「Nだ N」「ANだ AN」

基 本

例 文

① A: 田中^{たなか}さんはどこですか。B: たぶん^{たしいくかん}体育館^{たいいくかん}でしょう。② A: 田中^{たなか}さんはまだ^お起きて^おいる^おのでしょうか。B: たぶん^ねもう寝^ねた^ねでしょう。③ A: き^ぶのう^{しあ}のサッカー^ぶ一部^{しあ}の試合^{しあ}を見^みましたか。B: いいえ。でも、一生^{いっしょうけんめい}懸命^{けんめい}練習^{れんしゅう}していましたから、勝^かった^かでしょう。④ A: 田中^{たなか}さんは何時^{なんじ}に来^きますか。B: 3時^じごろ^く来^くる^くでしょう。

解 説

A. 現在^{げんざい}と過去^{かこ}の^のできごと^{すいそく}を推測^のして述^{つか}べるときに使う。(例文①②③)B. 未来^{みらい}の^のできごと^{よそく}を予測^のして述^{つか}べるときに使う。(例文④)

先生へ

「でしょう」の常体形は「だろう」。

「でしょう」で表される推測は主観的で、はっきりした根拠をもたない。

丁寧に質問するときに、「～でしょうか」を使うことがある。

例 A: これはいくらでしょうか。

B: それは1000円です。

【関連項目】

活-05 常体形
文-38 とおもいます
文-68 かもしれません

【「れんしゅう編」の練習】

12-1 あしたいいことがあるでしょう